

第98回 アジアセミナー

紛争後と災害後の平和構築 —東ティモールとフィリピンを事例として—

ヤマダ ミツル
山田 満 氏

講演者

社会科学総合学術院教授・AHC研究所所長

● 概要 ●

紛争も災害も多くの人命を奪う共通性を持つ。また、人々の日常性を奪い非日常性を余儀なくさせる。そこで、国際社会は非日常性を強いられた人々の日常性を回復するために、緊急人道支援をはじめ、支援内容を変えながら国際協力を行う。支援のアクターは、軍隊、援助機関、国際機関、NGOなど多様である。それぞれは機能的な役割を期待される。本講演では、東ティモールとフィリピンを襲った台風30号（ハイエン）を事例に取り上げて検討する。

2014年 **11月19日** 水 16:30～18:00

早稲田大学26号館(大隈タワー) 1202教室

- 言語：日本語
- 対象：学生・教職員・一般
- 申し込み等：入場無料 当日直接会場へお越し下さい



■ お問い合わせ 早稲田大学アジア研究機構事務所
TEL : 03-3202-2537 (内線 79-2261) E-MAIL : asianstudies@list.waseda.jp
URL : <http://www.kikou.waseda.ac.jp/asia/>
 <http://www.facebook.com/asianstudies.waseda>

主催：早稲田大学アジア研究機構